

## アマレク人との戦い

聖書：サムエル上第 15 章. 出 17:8-13. ガラテヤ 5:16-17, 24

- I. サムエル記上第 15 章は、アマレク人を征服することでのサウルの不従順についての記録です：
- A. サウルは敵を征服しましたが、神に対して完全に不従順でした——サムエル上 15:7-9。
  - B. ここでサウルは、完全に徹底的に暴露されました。それから、サウルは神にもサムエルにも放棄されました——サムエル上 15:14-26。
  - C. この章は、今日のわたしたちのための重要な学課を内容としています。
- II. 予表では、アマレク人は肉、すなわち墮落した人を表徴します——出 17:8-16：
- A. アマレク、すなわち、肉は、わたしたちが主と共に前進することを阻む主要な敵です——出 17:8. 申 25:17-18：
    - 1. アマレクという名は、「好戦的な」を意味します。それは肉が好戦的で、人を損ない、人を妨げることを示しています。
    - 2. クリスマン生活を最も大きく破壊するものは、肉です—— I ペテロ 2:11。
    - 3. 神がアマレクと絶え間なく戦っているという事実が啓示しているのは、神が肉を憎んでおり、肉を滅ぼすことを願っているということです——出 17:16. ガラテヤ 5:17。
  - B. 肉は、墮落した古い人の総合計、すなわち、わたしたちの墮落した存在全体を示しています——創 6:3. ローマ 7:18 前半. ガラテヤ 2:16：
    - 1. 肉は、古い人を生かし出し、表現することです——ローマ 6:6。
    - 2. 肉は神に敵対します。肉は神の律法に服従しませんし、それ自身を神の律法に服従させることもできません——ローマ 8:7。
  - C. 肉は神の敵の総本部であり、神の敵の働きの最大の基地です——ガラテヤ 5:19-21：
    - 1. 実際的な意味で、全宇宙において神の唯一の敵は、サタンではなく肉です——ローマ 8:7。
    - 2. 肉、墮落した人は、完全にサタンと一であり、サタンに用いられて神に敵対して戦います——マタイ 16:23. ガラテヤ 5:17。
    - 3. 肉は、わたしたちの敵の間で第一のものであり、罪、この世、サタンを導いてわたしたちに敵対して戦わせます——ローマ 8:3。
    - 4. 神はサタンを憎むのと同じように、肉を憎みます。そして神はサタンを

滅ぼすことを欲しているのと同じように、肉を滅ぼすことを欲して  
います——出 17:16. 申 25:17-19. サムエル上 15:2-3。

D. アマレクには、主の御座に敵対する手があります——出 17:16. サムエル  
上 15:22-23：

1. サタンがかつて神の御座を覆<sup>くつが</sup>そうとしたように、アマレクは神の御座を  
覆そうとしました——出 17:8, 16。
2. 肉はサタン自身のように、神の権威に敵対しています——イザヤ 14:12-  
14：
  - a. 肉は神に反逆し、神の御座に反逆しています。
  - b. 神が統治上行なうことは何であれ、肉はそれに反対します。
3. わたしたちの肉は、神の権威に対する敵であり、神の統治上の行政に反  
逆しています：
  - a. 肉は、神の御座、行政、ご計画に敵対しているので、最も醜いもので  
す——啓 4:2, 5:6. エペソ 3:11。
  - b. わたしたちの肉のあらゆる面は、善くても悪くても、神の権威に対す  
る敵です。
  - c. 肉に属するものは何であれ、神の御座に敵対しています。肉は、こう  
かつな者であり神の敵であるサタンによって用いられて、神の定めら  
れた御旨を妨げます——Ⅱコリント 2:11。

E. 肉は王職と敵対しています：

1. 肉があるところには、神の王国はあり得ません。
2. こういうわけで、肉は徹底的に対処されなければなりません。こうして  
はじめて、神の王国は来ることができます。

Ⅲ. エホバはサムエル記上第 15 章 2 節において、アマレク人がイスラエルに敵  
対して戦ったとき、イスラエルに対して行なったことで、アマレク人を罰  
すると宣言しました：

A. アマレクは、イスラエルの子たちが神の目標に到達するために行程を進ん  
でいたとき、イスラエルの子たちに敵対して戦いました——出 17:8-16.  
サムエル上 15:2-3：

1. 出エジプト記第 17 章 8 節から 16 節で描写されているアマレクとの戦い  
において、モーセは神の杖<sup>つえ</sup>を手にして丘の頂に立ち、ヨシュアは選ばれ  
た人々と共に出て行って、アマレクに敵対して戦い、アマレクを打ち破  
りました。
2. ヨシュアが戦っていた間、モーセは祈っていました。

3. ヨシュアがアマレクを打ち破った後、神はご自身が「代々にわたってアマレクと戦う」と宣言しました(出 17:16)。この事は、どれほど神がアマレク人によって引き起こされる妨げを、重大な事と考えていたかを示しています。
- B. 出エジプト記第 17 章 8 節から 13 節は、どのようにアマレクに敵対して戦うかをわたしたちに見せています：
1. わたしたちは、とりなすキリストによって、また戦う霊によって、アマレクに敵対して戦います——ローマ 8:34. ヘブル 7:25. ガラテヤ 5:17:
    - a. モーセが山頂で手を挙げることは、昇天したキリストが天でとりなしていることを予表します——出 17:9, 11.
    - b. ヨシュアがアマレクに敵対して戦うことは、内住する霊が肉に敵対して戦うことを予表します——出 17:9, 13.
    - c. わたしたちは、戦う霊と協力するために、とりなすキリストとの結合の中にいる必要があります——コロサイ 3:1-3, 5. ローマ 8:34, 13. ガラテヤ 5:24, 17.
  2. アマレクに敵対して戦うとき、わたしたちは祈ることによって、また肉を死に渡すことによって、主と協力する必要があります——ルカ 18:1. I テサロニケ 5:17. ローマ 8:13. ガラテヤ 5:24 :
    - a. わたしたちは祈るとき、とりなすキリストと一です——ローマ 8:34.
    - b. わたしたちは肉を死に渡すとき、戦う霊と一です——ガラテヤ 5:17.
    - c. 一方で、わたしたちはキリストと共に祈らなければなりません。もう一方で、わたしたちは戦う霊によって肉を殺さなければなりません——ガラテヤ 5:24.
    - d. 古い人を十字架につけることは神の責任でした。肉を十字架につけることはわたしたちの責任です——ローマ 6:6. 8:13. ガラテヤ 5:24.
- IV. 神はサウルに「アマレク人を討ち、彼らが持っているすべてのものを徹底的に滅ぼし、彼らを容赦してはならないと命じましたが、サウルはエホバの命令に従いませんでした——サムエル上 15:3-9 :
- A. サウルはアマレク人を殺しましたが、王アガグと、肥えた羊と牛の最も良いものと、小羊とすべての良いものを惜しみました——サムエル上 15:7-9.
  - B. サウルと民が、徹底的に滅ぼすべきものの最も良いものを惜しんだことは、経験的に、わたしたちが自分の肉、天然の命の良い面を尊び、それらを滅ぼしたくないという事実を描写しています：

1. わたしたちが神の恵みから離れて、また彼に依り頼み信頼することから離れて行なうことは何であれ、肉のものです——ピリピ 3:3-4。
  2. 肉のあらゆる面は、善くても悪くても、恵みと神の王国に対抗し、わたしたちにキリストを享受させないようにします。ですから、わたしたちは肉のあらゆる面を憎み、肉を滅ぼすことで絶対的にならなければなりません——ローマ 8:13. ガラテヤ 3:3. 5:2-4。
- C. 神はサウルに、家畜の最も良いものをご自身への犠牲として用いてほしくありませんでした——サムエル上 15:15:
1. 神に<sup>ささ</sup>げられ、犠牲としてささげられるものは何であれ、その源が肉にあるなら、神の目に悪です——サムエル上 15:19。
  2. わたしたち自身の意志にしたがって何かを神にささげることは、せん越であり罪深いのです——創 4:5. マタイ 7:22-23。
- V. わたしたち自身の意志にしたがって善を行なうことは、実は神の御座と彼のエコノミーに対する反逆の行為です ——サムエル上 15:22-23. 出 17:16:
- A. サウルの不従順は、彼が神に反逆する人であり、神の敵であったことを暴露しました——サムエル上 22:17。
  - B. サウルは神に対して徹底的に反逆しました。彼には神への何の従順もなく、神を彼の王またかしらとしまませんでした。
  - C. サウルは反逆で構成されていました。反逆は、偶像を礼拝することと同じくらい邪悪です——サムエル上 15:23。
  - D. サウルが行なったことは、悪霊と接触し、神の意図ではなく悪霊の意図を行なうのと同じくらい邪悪でした——サムエル上 15:23。
  - E. すべての反逆は、せん越の事柄、神なしにあえて事を行なう事柄です。
- VI. サウルが王職を失ったのは、彼がアマレクを徹底的に滅ぼさなかったからです——サムエル上 15:26, 28:
- A. もしわたしたちが自分の肉を対処することで絶対的でないなら、サウルのように、わたしたちの王職を失うでしょう——I ペテロ 2:9. 啓 1:6. 5:10。
  - B. サウルの不従順の記録は警告であり、わたしたちが神の王国の中で肉によって何も行なうべきではないことを示します。わたしたちはあらゆることで自分の肉を十字架につけ、忠信に霊を活用して主に従わなければなりません。彼は、わたしたちの霊に内住する、命を与える、究極的に完成された霊であり、わたしたちと一です——I コリント 15:45. 6:17. II テモテ 4:22. ガラテヤ 5:16, 25。

- C. アマレクが対処される時、神の王国は直ちに到来します——出 18:1-26 :
1. 神の王国は神の権威を示しています。神の権威によって、すべてのものは神に服従させられます——マルコ 1:15. ヨハネ 3:3, 5. 啓 11:15. 12:10. ダニエル 2:44。
  2. 肉は王職と敵対するので、肉は徹底的に対処されなければなりません。こうしてはじめて、神の王国は到来することができます——I コリント 6:9-10. エペソ 5:5。
- D. もしわたしたちが主の言葉に従って、肉を徹底的に滅ぼし、霊にしたがって生き歩くなら、王職を持ち、神の王国の中になります——ローマ 8:4. 14:17. ガラテヤ 5:19-21. II ペテロ 1:5-11。